

## 平成24年度事業計画について

未曾有の大災害となった東日本大震災から1年が経過し、帆船日本丸・横浜みなと博物館への来場者も回復しつつあります。

平成23年度は、市内小学校を中心とする営業活動の成果やアニメ映画との連携イベント、新規事業である横浜みなとキッズクラブの順調な滑り出し等で、ほぼ22年度並みの来場者を確保できるものと見込んでおります。

公益財団法人となって2年目の24年度は、来場者回復基調の下、引き続きJTB法人東京との共同事業体として、民間のノウハウを有効に活用しつつ、公益事業の拡大と既存事業の充実を柱に、海と港と船に関する楽しみと憩いを提供し、お客様満足度の向上と、みなとみらい地区の賑わい創出に向け、事業の積極的展開と施設の適切な整備に努め、横浜市との協約目標である来場者17万人の達成を目指します。

### I 帆船日本丸事業

帆船日本丸は船齢82歳となり、船体強度部材である外板、フレームに加え、帆走艀装、木甲板など各所に老朽化が見受けられます。平成23年度は、日本丸の劣化状況を把握するため、19年度に引き続き第2回目の劣化診断調査が行われました。24年度は日本丸の保存、公開、練成事業を継続するため、港湾局と協議をしつつ法定検査に耐えるよう日本丸の強度部材補強や帆走艀装の延命措置を図る整備を重要課題としていきます。また、海事思想の普及活動の一環として、引き続き日本丸を活用した市民参加型の事業展開をして、参加者の印象に残る思い出作りができるよう活動していきます。

#### 1 保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

##### (1) 日常保守点検

- ① 観覧者通路・公開区域の安全点検整備
- ② 船内及び甲板清掃、船内真鍮磨き
- ③ マスト・ヤードその他帆装ぎ装の点検整備
- ④ 船体外板清掃
- ⑤ 木甲板補修
- ⑥ その他

##### (2) 年次船体整備

「船舶安全法」に基づく検査にあわせて次の工事を実施します。

- ① 中間検査受検工事

- ② マスト・ヤード塗装
- ③ 清水タンク開放点検整備
- ④ 帆走ぎ装の整備
- ⑤ ポンプ類開放整備
- ⑥ 汚水処理装置開放整備
- ⑦ その他

(3) 災害防止

- ① 観覧者、総帆展帆協力者及び甲板清掃協力者の安全の確保
- ② 船内防災センターにおいて火災、浸水及び不法侵入者等に備えて24時間体制で集中監視を実施

## 2 公開事業

船内を年間290日程度一般公開しています。日本丸乗船経験のあるガイドボランティアによる船内ガイドを毎日実施し、お客様に大変ご好評頂いております。このようにお客様のご意見を反映させることにより、サービスの向上に努めていきます。また、総帆展帆や満船飾を行うことで賑わいを創出していきます。

年間を通して広報活動に取り組み、帆船日本丸の魅力を多くの皆様にお伝えし、観覧者の誘致に努めます。

(1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 ・月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） ・年末 12月29日から12月31日まで ・1月末から2月下旬まで船体整備のため休館の予定
公開時間	午前10時～午後5時
観覧料	帆船日本丸・横浜みなと博物館共通 おとな(高校生以上) 600円(500円) こども(小・中学生) 300円(200円) * ( ) 内は20人以上の団体料金

(2) 総帆展帆

総帆展帆協力者の協力を得て帆を張った美しい日本丸をより多くの市民に見ていただくとともに、市民参加型の小規模な展帆（ミニ展帆）を年7回程度実施して日本丸メモリアルパーク内の賑わいを創出していきます。

#### 総帆展帆実施予定日

4月15日(日)	5月6日(日)	5月20日(日)	
6月2日(土)	6月24日(日)	7月16日(月)	
8月5日(日)	8月26日(日)	9月9日(日)	
9月23日(日)	10月14日(日)	11月4日(日)	計12回予定

#### (3) 満船飾

祝日及び開港記念日には満船飾を実施し、華やかさをより演出します。

#### 満船飾実施予定日

4月29日(日)	5月3日(木)	5月4日(金)	
5月5日(土)	6月2日(土)	7月16日(月)	
9月17日(月)	9月22日(土)	10月8日(月)	
11月3日(土)	11月23日(金)	12月23日(日)	
1月14日(月)	3月20日(水)		計14回予定

#### (4) 総帆展帆協力者の養成

平成24年3月現在、総帆展帆協力者として登録されている市民ボランティアは2,269名にのぼります。毎回の総帆展帆に約100名の参加がありますが、今後も継続して事業を実施していくために、一般市民から協力者を募集し、養成します。

#### (5) 帆船日本丸船内ガイド

社団法人海洋会横浜支部及び社団法人全日本船舶職員協会横浜支部の協力を得て、帆船日本丸に乗船経験のある元船長・機関長を中心としたガイドボランティアによる船内ガイドを実施しています。

平成24年3月現在、ガイドボランティアとして協力いただいている方は42名で、平日は2名、土日祝日は3名体制で、お客様に船内を案内し、公開事業のサービスの向上に努めます。

### 3 青少年錬成事業

帆船日本丸は、青少年が船上訓練などを行うことにより海、船、港に関する知識を学ぶ教育施設です。また、団体生活を行うことにより強い心と体を培う施設でもあります。

帆船日本丸及び訓練センターを活用して、青少年錬成のための海洋教室を開催し、海事思想の普及を図ります。

#### (1) 海洋教室の概要

##### ① 目的

帆船日本丸での規則正しい団体生活を通じて青少年にたくましい

体力と精神力そして協調性・友愛・責任感・注意力等を培い、海、船、港に関する理解と知識の増進を図ります。

② 対 象

小学生以上（1日コース及び宿泊コースは4年生以上）

③ 内容等

種 類	内 容	募集予定数
半日・1日 コース	概要説明、船内見学、甲板清掃、操帆訓練、登檣訓練、結索訓練	600人
宿泊コース	概要説明、船内見学、甲板清掃、操帆訓練、登檣訓練、手旗訓練、避難訓練、船長講話、結索訓練、カッター訓練	800人

(2) 海洋教室の実施計画

平成24年度は、市内小学校の宿泊コースを積極的に受け入れるとともに、28年目を迎える「よこはまこどもマリンスクール」や25回目となる「横浜市工業会連合会新入社員合同研修会」など、継続して利用いただいている団体を引き続き受け入れます。

4 教育普及事業

帆船日本丸を活用して、その魅力と帆船の文化を知ってもらうため次の事業を行います。

(1) 総合学習の受入

総合学習の一環として体験学習や課外活動を積極的に受け入れます。

(2) 帆船日本丸清掃体験と船内見学

椰子の実を使って甲板を清掃する甲板みがきや、真鍮製品の手入れをする真鍮みがき等を体験してもらうとともに、職員の案内で船内見学を行います。

5 その他

(社) 横浜港振興協会主催の横浜港カッターレースに協力し、カッターの貸し出し等設備の提供のほか、参加者の安全確保や競技の進行を補助する目的で職員を派遣します。

また、同時に開催される小学生カッターレースにあたっては、事前にカッターとう漕(オールを使って漕ぐこと)の初期導入指導を行うとともに、海事知識の習得を併せて実施し、海事思想の普及に努めます。

## II 横浜みなと博物館事業

多くの人に船や港、海に親しみ、関心を深めていただくため、こどもから大人、ファミリーまでが興味と関心をもって楽しんでいただける体験的なプログラムを用意し、市民ボランティアと協働して、何度でも来ていただける博物館づくりに努め、リピーターと新しい入館者の増加を図ります。

### 1 常設展示事業

常設展示をよりよく知り、楽しんでいただくために市民の展示案内ボランティアによる展示の案内、説明を毎日実施します。

高校生以下無料の土曜日には、子ども向けに折り紙とクイズラリー、日曜日には、ファミリー向けに短時間でできるペーパークラフトの体験型事業に取り組み、入館者の拡大とリピーターの確保に努めます。

小学校の団体見学向けには、見学の手引きとなり学習にも役立つワークシートの拡充と活用を図り、学校の社会科見学における展示の利用を促進します。

また、展示を良好な状態に保ち、常に魅力あるものにしておくため、メンテナンスや展示内容と情報の更新を行います。

総合案内所では、当施設と事業の案内及び誘導に加え、周辺観光施設の紹介などのサービスの充実を図ります。

#### (1) 公開日等

公開日	次の日を除く毎日 毎週 月曜日（祝日にあたる時は公開し、翌日が休館日） 年 末 12月29日～12月31日 燻蒸期間 1月28日～ 2月 1日
公開時間	帆船日本丸と同じ
観覧料	帆船日本丸と共通券 帆船日本丸が船体整備中は横浜みなと博物館単独券を発行 企画展等展覧会の期間中は展覧会単独券を発行

#### (2) 展示案内

- ①展示案内ボランティアによる常設展示の説明は、入館者から喜ばれています。現在32名に協力していただき、毎日複数名の体制で、入館者へのフレンドリーな案内を行います。
- ②小学校の団体見学に対するサポートとして、見学及び学習の手引きとなる学年別ワークシートの改良と活用を行っていきます。

### (3) 保守

常設展示にはコンピューター、DVDなどを複合的に組合せた映像展示や体験型展示、大型実物資料などがあるため、職員による日常的な保守および軽微な復旧作業のほか、専門業者による保守点検、清掃を実施します。このほか、故障した展示物の修理、補修を行い、展示品の良好な維持管理を図ります。

また、展示情報の更新を適宜行い、生き生きとした展示を目指します。

## 2 特別展示事業

横浜港及び海、港、船をテーマにした企画等の展覧会を開催します。

24年度の企画展は、10月に日本の客船ポスターの変遷を紹介するもの、2月に横浜港の観光名所をテーマにした展覧会を開催します。また、夏休みに(独)海洋研究開発機構(JAMSTEC)の協力を得て海洋をテーマとする展覧会、6月頃には三陸河北新報社の協力を得て東日本大震災の復興写真展、12月には恒例となった市民からの写真募集による帆船日本丸の写真展を予定しています。

展覧会名	会期
東日本大震災石巻かほく復興写真展(仮称)	6月頃
日本の深海調査の開拓者展(仮称)	7月14日～8月19日
企画展 日本の客船ポスター展(仮称)	10月6日～11月25日
横浜の帆船日本丸 第4回 公募写真展	12月15日～1月27日
横浜港観光名所案内展	2月16日～4月7日

## 3 教育普及事業

船や港、海に親しみ、関心を深めるため、こどもから大人、ファミリーで楽しめる体験型プログラムを用意します。春はペーパークラフト教室、夏は小学生向けの船の工作教室、秋は大人向けの海図教室などを行います。週末の体験型プログラムおよび夏休みの事業の実施には、20名の教育活動ボランティアにご協力いただいています。

また、23年度から始まった1年間活動する小学生向け事業である「みなとキッズクラブ」を引き続き実施します。

週末の入館者向けリピーター増加のための事業として、高校生以下入館無料の毎週土曜日にはこども向けクイズラリーと教育活動ボランティアによる船の折り紙教室を実施します。日曜日にはファミリー向け事業として23年9月から開始し好評なサンデーペーパークラフト教室を引き続き行います。24年9月には新しいペーパークラフトが加わります。

(1) 横浜みなとキッズクラブ（小学生高学年向け／年間）

みなと博物館や日本丸、内水域、横浜港をフィールドにした体験型活動を同じメンバーで1年を通して行い、身近なところから海と船と港、くらしと環境などに親しみと関心を深める小学生（高学年）向け事業です。ワークシートを使った博物館・日本丸探検や横浜港の見学と観察会、コンテナふ頭見学、シーカヤックなどを、7回ほど実施します。

(2) キッズのためのクイズラリー（小・中学生向け／年間）

高校生以下入館無料の土曜日の小・中学生向け事業。展示をよく見て答えるクイズラリーを実施します。

(3) 楽しい船の折り紙教室（こども向け／年間）

高校生以下入館無料の土曜日の事業。常設展示室で教育活動ボランティアの指導による船の折り紙の教室を実施します。

(4) サンデー・ペーパークラフト教室（ファミリー向け／年間）

日曜日の来館者の半数を占めるファミリー層を対象にした事業。教育活動ボランティアの指導による短時間でできるペーパークラフト教室を常設展示室で実施します。

(5) 大人のためのペーパークラフト教室（大人向け／5月）

大人向けの帆船日本丸のペーパークラフトをつくる教室。中級編、上級編に分けて5月に開催します。

(6) ミナト散歩（大人向け／6月・10月）

学芸員の案内で、春は横浜港の歴史的な施設、秋は横浜港周辺の映画のロケ地を散策します。

(7) 海図教室（ファミリー向け／7月、大人向け／11月）

ワークショップを通じて海図について知り、親しみます。夏休みには親子向け、秋には大人向けに開催します。

(8) 船の工作教室（ファミリー向け／5月、小学生向け／8月）

ゴールデンウィーク及び夏休みについては、小学生を対象に船に親しむ事業として、実際に動く船の模型を作ります。

(9) 日本の深海調査の開拓者展(仮称)ワークショップ(ファミリー向け/7~8月)

昨年好評だったワークショップを海洋研究開発機構の皆さんとともに夏休み中に開催します。

(10) おはよう操船シミュレーション教室(小学生向け/8月)

展示室のシミュレーターを使って、船長経験者の指導で港内航行ルールを学びます。夏休みに実施します。

(11) 「横浜の帆船日本丸」ピンホール写真撮影教室(ファミリー向け/7~8月)

「横浜の帆船日本丸」募集写真展関連事業としてピンホール写真撮影教室を夏に開催します。

(12) 親子の船の見学会(ファミリー向け/3月)

横浜港内に入港する航海訓練所の練習船や海上保安庁の巡視船、クルーズ客船などを見学し、その役割や働く人について学びます。春休みに実施します。

#### 4 調査・研究・収集・出版活動事業

(1) 資料調査・研究等事業

横浜港を中心とした資料の調査、研究、収集、整理、保存を行い、その成果を公開するとともに、展示や教育活動に反映させます。また、資料整理のデータベース化を進めます。

(2) 出版活動

博物館ニュースや企画展に合わせた図録等を出版します。

(3) 資料貸出・レファレンス

資料の貸出や閲覧のほか、問合せ等レファレンスサービスを行います。

#### 5 ライブラリー事業

横浜港や船、海に関する図書・逐次刊行物等を収集・整理、公開し、小学生から専門家に学習、研究の場を提供します。データベース化した約2万冊の蔵書情報はライブラリー、ホームページで公開します。

(1) 公開日・公開時間

博物館の公開時間と同じ。

(2) 利用方法

博物館の入館者の利用は無料。ライブラリーのための利用は1人100円。コピーサービス(有料)のほか、レファレンスサービスを行います。

### (3) 収集・整理

横浜港、港運、海運、船舶、航海等に関する図書、逐次刊行物等を収集、整理して配架します。また図書のデータベース化を進めるとともに、保守点検を行い、良好な状態を維持します。

## 6 その他

小中学生の体験学習の受け入れのほか、アウトリーチ活動として、周辺区の教育事業や団体や企業の研修への出張講義など館外での活動を行います。

### Ⅲ 緑地及び研修施設事業等

港湾緑地である日本丸メモリアルパーク内を公共施設としてふさわしい安全性を確保し、環境に配慮した維持管理を行うとともに、有効活用を図るため、次の事業を行います。

#### 1 緑地の維持管理・活用

##### (1) 安全管理・美化

劣化・老朽化している箇所を速やかに補修改善し、緑地等での安全管理、景観・保全、美化清掃を実施して、施設の環境の維持保全を図り、来園者が安全快適に過ごせる空間を提供します。

##### (2) 撮影

休館日にもメモリアルパーク内緑地での撮影を可能とし、過去の撮影実績と傾向を踏まえ利用促進を図ります。

##### (3) 催事

市民交流の場、リサイクル活動の場として、リサイクル運動市民の会と共催で年間15回（予定）のフリーマーケットを開催すると共に、緑地等における各種催事の企画やイベント誘致で利用促進を図っていきます。

#### 2 研修施設（訓練センター）の管理運営

当財団の研修施設は、駅からのアクセスも良く、利用者から好評をいただいております。今後とも海と港と船に関連する団体・法人等に幅広くご利用をいただけるよう、WEB上での施設申し込み、予約状況の確認等、ホームページの見直しにより、利用者の利便性向上に努めてまいります。

#### 3 シーカヤック体験教室等

みなとみらい21地区の水際線に位置し港湾緑地である日本丸メモリアルパークの内水域及び自動車道側静水域において、NPO 横浜シーフレンズと連携しシーカヤック体験教室を開催します。このシーカヤック教室は、22年度の試行的な実施を経て、23年度から本格的実施となり、約600名の参加がありました。24年度につきましては、更に、実施回数を増やし、平日の体験試乗会なども開催し、内容を拡大・充実し、2,000名以上の参加者を目指します。

又、水域の有意義な活用として、10月～11月には『カヌーポロ』大会を実施する等、様々なマリンスポーツを体験出来る場所、そして情報発信基地として、インナーハーバーの賑わいを創出していきます。

#### 4 水質改善調査

今年度は、横浜港を美しく生命豊かな海へと再生するため、横浜市の協力を得て、日本丸メモリアルパークの内水域において、海洋環境の改善に取り組む団体等との協働による水質保全活動を展開します。

## IV 賑わい創出に向けた集客・プロモーション事業

平成24年度の来館者数目標17万人の達成をめざし、学校を始めとする団体のお客様への営業活動。複数のチャンネルを利用した効果的な広報活動やイベントの企画実施。自治体や地域の組織・施設・団体などと連携をとりつつ参加型事業を増やし集客効果を高めるための仕組み、ネットワークづくりに取り組みます。

当財団のホームページについては、見やすく、タイムリーで魅力的な情報提供をするために改定をいたします。また、共同事業体の日頃の活動についてもホームページ上でもPR致します。加えて、携帯のスマートフォン対応型にマッチするようにして、アクセス件数270万件を目指します。

### 1 学校への取り組み

- (1) 横浜市内の小学校(344校)、横浜市以外の神奈川県小学校(514校)合計858校へ訪問営業を実施し、来館者数前年比プラス2,000名増を目指します。東京都、千葉県、栃木県の小学校、および神奈川県、東京都、茨城県、宮城県の中学校へ遠足や修学旅行の誘致をいたします。
- (2) 9月から10月に開催される横浜市教育委員会が実施する横浜市小学校「ふれあいコンサート」の際の、見学、昼食場所としてご利用いただけるよう情報提供と営業を行います。
- (3) 横浜市小学校の社会科研究会にご協力いただいているワークシートについては、小学校へ訪問営業や情報提供する際に来館促進の資料として活用し、より効果的な学校行事となるよう協力していきます。
- (4) 春・秋冬の2回、神奈川県や東京都の小学校の教職員向けの下見会を開催し、遠足等でのご利用を促進して行きます。
- (5) 地域の幼稚園や保育園には参加型イベントへの誘致をいたします。

### 2 広報・宣伝への取り組み

#### (1) マスコミへの取り組み

横浜市政記者クラブをはじめとして、新聞社等マスコミへ積極的にイベントなどの情報を発信し、市民の方の来館を促進します。

#### (2) 地域紙や私鉄沿線誌への取り組み

みなとみらい広報誌「ミレア」を始めとする地域誌、私鉄沿線広報誌の「ENJOY みなとみらい BOOK」や「なぎさ」へ、施設情報やイベント情報を発信し地域、私鉄沿線のお客様への情報提供に努めます。

#### (3) ガイドブックや専門誌への取り組み

旅行者向けとしては、JTB旅行雑誌「るるぶ」や「まっぷる」等のガイドブックへ、全国の学校向けには月刊「教育旅行」等へ年間を通じた情

報の発信を行います。

(4) 外国人観光客への取り組み

横浜観光コンベンションビューローとの広報連携や海外メディアの取材等の対応によりアジアを中心とした海外での認知度を向上させます。

(5) 旅行会社への取り組み

JTB グループに加え、JR 東日本や JR 東海の旅行部門へ定期的な情報発信を実施し個人観光客や団体観光客の情報提供や集客チャネルとして位置づけ情報発信を実施します。

### 3 各種イベントの展開

地域の幼稚園・保育園、キッズダンスチームの皆さんに、継続して参加いただけるように、参加型イベントにシフトして行きます。音楽イベントについては、アコースティック系ミュージシャンのイベントへの参画を促し、より多くのお客様に楽しんでいただけるようなイベントにして行きます。

(1) 定期的なイベント

①吹奏楽コンサート

横浜吹奏楽連盟および神奈川県職場・一般吹奏楽連盟の主催、後援で吹奏楽コンサートを年間15回(予定)開催します。

②ロックヤード ライブ エクストラ at 日本丸

ロックミュージックを中心としたライブステージを定期的で開催します。

(2) スポット型のイベント

①ゴールデンウィークイベント(ファミリー向け)

・音楽 ・参加型ダンスパフォーマンス ・参加型体験 ・工作教室

②ハロウィンイベント(ファミリー向け)

・参加型 ・地域連携型

③クリスマスイベント(ご夫婦・カップル向け)

・日本丸営業時間延長 ・船上音楽ライブ ・イルミネーション

④帆船日本丸進水記念祭(全てのお客様向け)

・音楽 ・参加型ダンスパフォーマンス ・参加型体験 ・工作教室

### 4 横浜市・近隣施設との連携

(1) 西区をはじめとして地域の市民活動支援センター利用団体等や子育て支援拠点、老人クラブなどへの施設情報やイベント情報の提供PRを行い、施設の認知度向上および来館を促進します。

(2) 船体整備期間である閑散期に西区をはじめとして近隣各区の区民デーを設定し、在住者、在勤者、在学者向けの割引やガイドツアー等を行い、

来館を促進します。

- (3) 近隣の幼稚園、保育園に進水記念祭やその他のイベントへの継続的な参画がいただけるよう働きかけます。
- (4) 近隣ホテルへ、企画展やイベント情報をタイムリーに発信し、宿泊客の来館を促進します。
- (5) 近隣のみなとみらい技術館や日本郵船歴史博物館、横浜開港資料館、野毛山動物園、京浜フェリーボートなどと連携し、相互に来館を促進します。
- (6) 横浜市のプロモーションと連携したイベント誘致  
横浜市が推進するイベントに協力、誘致しパークの賑わいづくりと入館者増をはかります。

## 5 「海と山と丘の公園交流事業」

日本丸メモリアルパーク（横浜市）、神奈川県立相模原公園（相模原市）、国営アルプスあづみの公園（長野県安曇野市・長野県大町市）の3公園において、それぞれの特色を生かして、「地域を越えた自然交流や子どもたちの体験交流」を柱とする「海と山と丘の公園交流事業」を行っていきます。

平成24年度の交流事業（実施時期は予定）

- (1) 日本丸募集写真展 at あづみの公園（5月）
- (2) 日本丸募集写真展 at 相模原公園（6月）
- (3) サマーキャンプ（海洋教室） at 日本丸（8月）
- (4) 相模原公園&日本丸メモリアルパーク&あづみの公園共同写真展  
at 相模原公園（7月～11月）
- (5) 日本丸ペーパークラフト教室 at あづみの公園（10月）
- (6) 相模の大凧展 at 日本丸（1月）
- (7) あづみのから雪がやって来る！ at 日本丸（3月）

## 6 定期観光バスの誘致

はとバスの定期観光バス誘致のための営業活動を引き続き行っていきます。

## 7 各種団体・企業との連携プロモーション

JTB 法人東京やその他広告代理店などを通じて、アリーナの利用促進とメモリアルパークの賑わいの創出のため、自治体、自治体の関係団体、業界団体、企業等のプロモーション事業受入に当たって、日本丸メモリアルパークのプロモーションにも繋がるイベント内容を提案して行きます。

## V 付帯施設の運営等

### 1 ミュージアムショップの運営

来館者の記念になるような帆船日本丸や帆船関係等の記念グッズの数を増やし、イベントごとの魅力ある品揃えをし、来館者が見て楽しめるような店内レイアウト等も工夫し、売上の増加及び収益確保に努めていきます。

### 2 ミュージアムカフェの運営

4月からリニューアルオープンし、「馳せる思い」をテーマとして、国内外の観光客や横浜市民の皆様が開港当時の横浜や諸外国等へ思いを馳せながら、メモリアルパークでのイベントとの連携を一層強化し、みなどみらいで過ごす「横浜らしいひと時」を演出します。

### 3 「帆船日本丸友の会」の活動

会報『ヤード』の発行や財団主催のイベントの協力など財団事業を広く支援し、港や船、海に関して知識を深めている活動を実施しています。